

SSKS

VOL.125

結の実通信125号

特定非営利活動法人結の実

ご挨拶

理事長 難波 英勝

向暑の候ではございますが、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は法人の運営に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

本年度の総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面評決にて実施をいたしました。皆様のご協力により全議案が可決となりましたことをご報告いたします。詳細は、後述の事務局からの報告をご覧ください。

今年の1月に国内で初めての罹患者が発表されて以来、半年弱の間に猛威を振るい、7月10日現在で法人の所在地である町田市では、66名の陽性者が報告されております。

お陰様で法人のグループホームや、利用者の通所先での罹患者の報告は受けておりませんが、東京都では7月に入ってから100人越えが6日連続し、2桁に収まった日が1日ありましたが、その翌日から200人越えが12日まで4日連続で続いております。13日以降は減少に転じることを願っておりますが、この通信がお手元に届く頃には、どうなっているのか、いささか不安ではあります。

小池都知事の発表の通り、PCRの検査数を1日当たり1,000件から3,000件以上に増やしたので、陽性者数も増えたとの説明が当たっていることを願うばかりです。

グループホームでは、当初から言われております「3密」を避けることは困難であり、特に密接は不可避です。ソーシャルディスタンスやマスクの着用も、利用者によってできる人とできない人に分かれてしまいます。

法人としては、感染予防に関する取り組みについて、職員には玄関でのアルコール消毒、勤務中のマスク着用の義務化、本人及び同居家族の体調管理と報告を徹底し、利用者に関しては、帰宅時のアルコール消毒、1日2回の体温測定を行い、マスクの着用は可能な利用者のみとし、緊急事態宣言発出時には、自宅に帰ることが可能な利用者は宿泊を中止して自宅での対応をお願いいたしました。不可能な利用者も数名受け入れておりますので、その対応として、通所と通院、近隣の散歩以外の外出を控え、通所先施設が閉鎖や時短通所になった時には、それに合わせた職員の増員を行い。関係者以外のホームへの立ち入りの制限などを実施した結果、前述の通り現在まで罹患者無しで推移して参りました。これからも同様の基本動作を徹底し、罹患者無しの運営を目指す所存でございます。会員の皆様には、事情ご賢察の上変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

経済のことを考え、従前の日常に戻そうという動きもあるようですが、コロナウィルスがなくなった訳ではございません。感染予防に注意されてお過ごしください。

法人目的

結の実は地域の障害がある人々や子どもたち、高齢者などに対して、必要とする福祉サービス等を提供し、社会的・経済的自立を支援するとともに、社会参加促進に関する事業を行い、障害の種類・程度に関わらず、すべての人々がゆたかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的としています。

グループホーム運営方針

- ① 障がいの程度にかかわらず、入居者が健康で自立した生活が営めるように支援を行なう。
- ② 入居者の個性を理解し、それぞれの入居者が今まで営んできた生活環境を尊重した支援を行なう。
- ③ 入居者の人権を擁護し、就労や社会参加等充実した社会生活が送れるように、関係施設や地域と連携していく。

法人沿革

- 1988年9月 課外グループ「生活ホーム結」設立
- 1991年4月 通所訓練の場「通所施設・結」開所
- 1994年7月 宿泊訓練「生活ホーム・結」開始
- 2001年9月 「特定非営利活動法人 結の実」認可
- 2004年4月 男性ホーム「ホーム・まな」を開所
- 2008年3月 女性ホーム「ホーム・ゆい」を開所

「ささやかな楽しみ」

ホーム・ゆい（女性ホーム）で生活している入居者には、帰る場所がなく、365日ホームで暮らしている方が何人かいらっしゃいます。彼女たちも、皆様と同じように緊急事態宣言中は、自粛生活を送っていました。中には日中通っている施設が閉鎖され、24時間ホームで暮らしている人も。

土日に利用していたガイドヘルパーさんとお出かけも、外食やコンビニなどお店への立ち入りも我慢し、自室でテレビを観たり、職員とお話したりして過ごしていました。自分の気持ちを言葉にしてうまく表現できない入居者の中には、ハンカチの糸をほぐしたり、夜なかなか寝付けなかったりと、様々な形でストレスを表現していたように思います。



6月、ようやく緊急事態宣言が解除され、少しずつ日常が戻ってきました。もちろん油断はしていません。外出時のマスク着用はもちろん、手指のアルコール消毒や定時での検温なども継続しています。日中通っている施設もすぐには元通りにはならず、時短だったり、日数を減らしての通所であったりしました。

しかし、普通にお仕事に行けることがどれだけ嬉しいことか・・・彼女たちの笑顔や笑い声がそれを表していました。そして、お休みの日は久しぶりにお出かけし、伸びた髪を切りに行ったり、家族と面会したりしています。第2派が来る前にと、ささやかな楽しみとして、感染症対策をしたうえで、久しぶりに回転寿司でランチを楽しむこともできました。

7月になってまた感染者が増加してきました。ゆいの入居者の中には、闘病中の方もいて、もし感染した場合重症化の可能性が高いです。慎重に行動したいと思っています。皆様も、それぞれ大変な毎日であると思いますが、お身体ご自愛ください。入居者の皆さんも職員もなんとか乗り切って、皆様にまた元気な様子をお知らせできればと考えております。

2020年度結の実通常総会のご報告

今年度の総会は、2020年6月20日に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面表決の形式で開催されました。例年通りであれば、会員の皆様から様々なご意見をいただいたところですが、今回はこのような形式になったこともあり、通信の場で皆様からのご質問やご意見に対応させていただきます。

討議事項①

意見：（事業報告書の）強度行動障害の研修はとても勉強になり、是非すべての職員に受けていただきたいです。

回答：希望する職員には、可能な限り機会を提供したいと考えています。

討議事項②

質問：（事業計画にある）グループホーム事業におけるコーディネート支援の範囲の明確化についての説明が欲しいです。

回答：グループホームにおける本来的な支援は、ホーム内における入居者に対する直接支援です。それに対して、コーディネート支援は入居者ごとにニーズが異なる支援となります。例えば、通院を希望する入居者に対する通院同行や余暇活動を希望する入居者に対する余暇支援（ガイドヘルパーの手配等）などです。この本来的なグループホーム支援を充実させるとともに、コーディネート支援をどこまで行うことが可能か検討し、入居者に説明していくことが必要と考えています。

質問：（事業計画の）外部サービスや環境整備の具体案が知りたいです。

回答：外部サービスに関しては、消耗品の購入にインターネットサービスを利用して職員の買い物に行く時間を減らし、環境整備に関してはガス乾燥機設置工事を行い、洗濯物を干す時間の効率化を図り、職員が入居者への直接支援に専念しやすい環境を作れるように整備しています。

意見：（別紙報告の）感染予防に関する取り組みについて職員の体調報告は職員の体温測定の習慣化になる取り組みです。これからは熱中症も心配になってくるので、健康管理が一番気をつけなければいけない課題と思います。

回答：ありがとうございます。引き続き気をつけていきたいと思っております。

討議事項③

質問：来年から理事の人数が減ることが決まっているのですか？

回答：まだ、来期以降の役員体制に関しては何も決まっておられません。今回の定款変更は、理事人数の下限を特定非営利活動促進法の定める最低人数である3人とするものですが、今まで通り結の実のために役員を引き受け、力を発揮したいと考えている方を排除するものではありません。その時々によって、柔軟な法人運営ができるように、選択肢を広げたものととらえていただければと思います。

意見：（理事の）人数が減っても、理事一人一人が広い視野と正しいポリシーを持って利用者さんご家族の立場に立って、意見を言い合えることが大切かと思っております。信頼関係を築ける法人を期待したいです。

回答：貴重なご意見ありがとうございます。ご期待に添えるように引き続き努力していきたいと考えています。

その他総会運営に関する事項

意見：コロナが落ち着きましたら、後日改めて総会をお願いします。

回答：冒頭にも記載しましたが、今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面表決での開催となりました。皆様のご意見を直接お聞かせいただけないことは大変残念に思います。来年度以降に関しましても、新型コロナウイルスの感染拡大状況やワクチンの開発状況、社会情勢等から総合的に判断してまいりたいと考えております。

以上、様々なご質問やご意見をいただきありがとうございました。

特定非営利活動法人結の実の法人理念や事業運営方針の趣旨にご賛同いただき、ご支援して下さる方々の入会及び寄付をお願い申し上げます。

年会費 2000円

郵便振替口座 00110-2-355729

口座名義

特定非営利活動法人結の実

- * 郵便振替用紙に、お名前・住所・電話番号・〇〇年度会費として、のご記入をお願いします。
- * 入会時期に関わらず、会員資格は年度ごとの更新となります。

寄付 4名 (2020年2月15日～2020年7月10日)

明滝光子 清水千加子 成沢超子 野本きみ子

2020年度 更新会員 67名 (2020年2月4日～2020年7月10日)

安達利恵子 明滝光子 相原純子 浅川寛文 石川薫 石川紀子
市村たづ子 伊藤啓子 伊藤富佐子 伊藤友幸 入山公子 岩浅和美
岩浅義昭 榎本節子 大里規子 大西元 大西常子 小山京子
カトー保険事務所 葛生禎子 小島恵見 坂口聖子 坂田勇征 坂田早苗
貞富篤信 貞富加代子 貞富護 貞富久美子 貞富結菜 清水千加子
杉本わか 鈴木美恵子 田島孝子 鳥谷トモ 成沢超子 難波英勝
難波雅英 難波道子 仁木眞知子 野本きみ子 橋本和子 東本浩二
東本眞知子 藤田浩子 藤平則夫 藤巻秀子 前田イネ 増田一郎
御園由美子 三宅康史 宮嶋寿美江 宮嶋利明 柳沼恵一 柳沼幸子
柳沼秀彦 安田靖子 山口久子 山口松次 山口ノブ子 山内劉子
山本隆弘 山本剛 山本由美子 山本康博 山田都 吉村光子
小林輝彦

2020年度 新規会員 2名 (2020年4月1日～2020年7月10日)

貞富和希 橋本孝彦

(順不同・敬称略)

☆ご支援まことにありがとうございました☆

事務局からのお知らせ

- ☆ 2019年度第5回理事会が2020年1月25日に開催されました。
- ①結の実定款変更について
 - ①の議題に関して結の実定款第13号変更に関して意見交換が行われました。
- ☆ 2019年度第6回理事会が2020年3月21日開催されました。
- ①2019年度第3四半期結の実会計報告
 - ②2020年度結の実事業計画案
 - ③結の実正規職員就業規則（週休3日制）について
 - ④入居者車両利用時の実費徴収について
 - ①の議題に関して承認されました。
 - ②の議題に関しては、継続審議となりました。
 - ③④の議題に関して承認されました。
- ☆ 2020年度第1回理事会が2020年5月30日に開催されました。
- ①2019年度決算報告案、事業報告案
 - ②2020年度収支予算案、事業計画案
 - ③結の実定款変更案について
 - ①②③の議題に関して、総会資料とすることが承認されました。
- ☆ 2020年度通常総会が2020年6月20日に開催されました。
- 会員総数83名のうち出席69名（当日3名、書面表決書66名）で総会は成立しました。
- ①結の実2019年度事業報告案、収支決算報告案
 - ②結の実2020年度事業計画案、収支予算案
 - ③結の実定款変更案
 - ①②③の議題に関して承認されました。

結の実通信 125号

『編集』特定非営利活動法人結の実 事務局

〒194-0046 東京都町田市西成瀬 1-39-13

TEL/FAX : 042-725-8693

E-mail : yuinomi@star.ocn.ne.jp

ホームページ <http://yuinomi.com>

『発行』特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102号室

TEL : 03-6277-9611 FAX : 03-6277-9555 定価 50円